

■平成 28 年度事業報告書■

一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟

I 事業期間

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

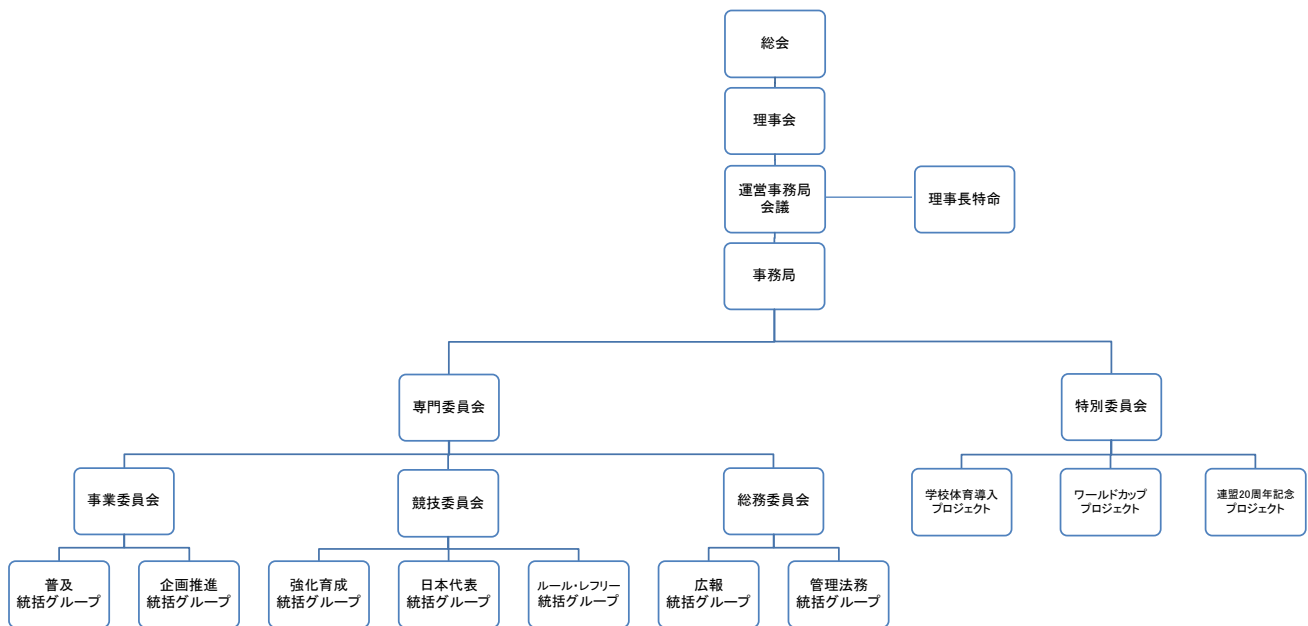
II 事業報告の概要

1. 概況

- (1) 平成 22 年 4 月の法人設立から 7 期目となる年度を終了。
- (2) 初のアジア大会となる、キンボールスポーツアジアカップ 2016 の準備、実施に注力。
- (3) プレーヤーの育成および日本代表チーム強化をはかる活動に積極的に取り組んだ。特に平成 28 年度はキンボールスポーツアジアカップ 2016 男女日本代表チームが成果を上げるためにバックアップを行い、男女ともに優勝の結果を残した。
- (4) 助成事業を積極的に活用した。独立行政法人日本スポーツ振興センター平成 28 年度スポーツ振興くじ (toto) 助成事業として 3 事業、加えて独立行政法人日本スポーツ振興センター平成 28 年度スポーツ振興基金助成事業として 1 事業を主催として実施。また、公益財団法人スポーツ安全協会平成 28 年度スポーツ普及奨励助成事業として 1 事業を主催として実施。
 - 独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成 28 年度スポーツ振興くじ (toto) 助成事業
 - 1) 第 17 回キンボールスポーツジャパンオープン・フレンドリーカップ
 - ・和歌山県で初の全国大会を開催。
 - 2) キンボールスポーツ指導者講習会 2016
 - ・宮城、東京 (2 回)、山梨 (2 回)、石川、岐阜、三重、奈良、京都、大阪 (2 回)、和歌山 (2 回)、兵庫、香川 (全国 12 か所 16 回) にて、指導者講習会を主催開催。
 - 3) 2016 日本キンボールスポーツ連盟講師派遣事業 (講師派遣)
 - ・北海道、宮城、千葉、埼玉、東京 (3 回)、山梨、静岡、石川、滋賀、大阪、香川、沖縄 (全国 12 か所 14 回) の講習会に講師派遣。
 - 独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成 28 年度スポーツ振興基金助成事業
 - キンボールスポーツアジアカップ 2016
 - ・初のアジア大会。6 つの国と地域 (韓国、中国、香港、マカオ、シンガポール、日本) より参加。
 - 公益財団法人スポーツ安全協会 平成 28 年度スポーツ普及奨励助成事業
 - 第 17 回キンボールスポーツジャパンオープン・チャンピオンズカップ
 - ・アジアカップの参加国からも出場チームがあり、過去最多となる 71 チームの参加があった。
- (5) 次年度、日本で開催予定の「第 9 回キンボールスポーツ ワールドカップ 2017 東京大会」の準備を本格的に開始。

2. 組織運営

- (1) 日本キンボールスポーツ連盟では新中期目標の達成をめざし、かつ次世代へつなぐことのできる運営体制づくりの議論を重ねてきた。現在の組織のポイントは、普及、強化、基盤整備を柱として、当連盟運営組織の充実拡大を図り、最前線で指導的立場にある人材を登用することによって、新たな意見を運営に活かすことにある。また、リーダーシップを発揮できる人材の育成にも力を注いでいる。
- (2) 本年度も総会、理事会で決定した事項の実施については運営事務局会議で審議、決定し、その事柄について、委員会（専門委員会、特別委員会）において業務、任務にあたった。また、各委員会、プロジェクトより運営事務局会議に対して各種提案を行い、それに基づいた事業、取組も実施している。



■新中長期目標6項目■

■学校体育（正課）カリキュラムへの導入

関係省庁、市町村教育委員会等にはたらきかけキンボールスポーツが学校体育の教材として正式導入されることをめざします。

■国体ならびに全国規模のスポーツイベントへの積極的参加

国民体育大会デモンストレーション種目として継続参加をめざします。開催地となる都道府県支部連盟の強化と日本連盟の支援を徹底します。

■全国47都道府県支部設立及び日本体育協会への加盟

全国47都道府県すべてに支部を設立することをめざします。未だ支部設立されていない県を中心に連盟主催講習会を行い、普及をすすめます。また、関係者にはたらきかけ支部設立に取り組んでいます（現在38都道府県に支部ないし準支部設立）。支部の都道府県体育協会加盟も推進し、日本体育協会加盟団体をめざします。

■アジアキンボールスポーツ連盟の設立とアジア各国との国際交流推進

平成23年（2011年）の兵庫県宝塚市におけるパンパシフィックカップ開催を契機にアジア諸国に働きかけ、平成28年（2016年）より正式活動を開始いたしました。アジア選手権などキンボールスポーツを通じた国際交流を促進します。

■多世代や障がいをもつ人々の参加機会の拡充、交流大会の創設

キンボールスポーツがすべての人々に開かれたスポーツであることをめざします。ルールバリエーションの採用、新たな普及プログラムの開発や関係団体との連携により、誰もが参加しやすい環境づくりに取り組んでいきます。

■組織基盤・財政基盤の早期確立による事業の充実

平成22年度（2010年）より日本キンボールスポーツ連盟は一般社団法人に生まれ変わりました。今後より一層の事業の充実のため、制度・組織の見直しを図り基盤整備の充実をめざします。

Ⅲ 事業別報告

1. 指導者、支部養成関連事業

★平成 28 年度データはすべて平成 29 年 3 月 31 日現在のもの

(1) 登録者 (ファン※)

※…ファン：旧サブリーダー (無料登録)、旧サポーター、サポーターを含む任意団体時代からのすべての登録者。

- ・平成 28 年度 新規数 308 名 (平成 27 年度：343 名)
- ・平成 28 年度 総数 計 19,524 名 (平成 27 年度：計 19,216 名)

(2) 普通会员 (サポーター)

- ・平成 28 年度 新規数 221 名 (平成 27 年度：264 名)
- ・平成 28 年度 総数 計 1,184 名 (平成 27 年度：計 1,225 名)

■指導者

(1) リーダー

- ・平成 28 年度 新規数 141 名 (平成 27 年度：178 名)
- ・平成 28 年度 総数 計 575 名 (平成 27 年度：計 518 名)

(2) マスター

- ・平成 28 年度 新規数 6 名 (平成 27 年度：12 名)
- ・平成 28 年度 総数 計 358 名 (平成 27 年度：計 407 名)

(3) グランドマスター

- ・平成 28 年度 新規数 0 名 (平成 27 年度：0 名)
- ・平成 28 年度 総数 計 15 名 (平成 27 年度：計 15 名)

■レフリー

(1) C 級レフリー

- ・平成 28 年度 新規数 66 名 (平成 27 年度：94 名)
- ・平成 28 年度 総数 計 531 名 (平成 27 年度：計 547 名)

(2) B 級レフリー

- ・平成 28 年度 新規数 4 名 (平成 27 年度：5 名)
- ・平成 28 年度 総数 計 30 名 (平成 27 年度：計 31 名)

(3) エグゼクティブ B 級レフリー

- ・平成 28 年度 新規数 1 名 (平成 27 年度：5 名)
- ・平成 28 年度 総数 計 5 名 (平成 27 年度：計 5 名)

(4) A 級レフリー

- ・平成 28 年度 新規数 0 名 (平成 27 年度：7 名)
- ・平成 28 年度 総数 計 7 名 (平成 27 年度：計 16 名)

(5) エグゼクティブ A 級レフリー

- ・平成 28 年度 新規数 1 名 (平成 27 年度：2 名)
- ・平成 28 年度 総数 計 3 名 (平成 27 年度：計 2 名)

■支部 (正会員)

- ・平成 28 年度新規認定支部 1 支部 (平成 27 年度：1 支部)

※平成 28 年度末現在 38 都道府県団体 (36 支部、2 準支部)

2. 主催事業 計 19 事業

(1) 大会主催 3 事業

① アジア大会

【事業名】キンボールスポーツアジアカップ 2016

【期 日】12月4日(日)

【場 所】大阪府豊中市 豊泉家千里体育館(豊中市立千里体育館)

【参 加】6つの国と地域(韓国、中国、香港、マカオ、シンガポール、日本)男女計12チーム
(選手105名、コーチ11名)参加。

【備 考】独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成28年度スポーツ振興基金助成事業

② 全国大会

【事業名】第17回キンボールスポーツジャパンオープン・チャンピオンズカップ

【期 日】12月3日(土)

【場 所】大阪府豊中市 豊泉家千里体育館(豊中市立千里体育館)

【参 加】71チーム、373名参加

【備 考】公益財団法人スポーツ安全協会 平成28年度スポーツ普及奨励助成事業

③ 全国大会

【事業名】第17回キンボールスポーツジャパンオープン・フレンドリーカップ

【期 間】10月29日(土)、30日(日)

【場 所】和歌山県田辺市 田辺スポーツパーク体育館

【参 加】96チーム、479名参加

【備 考】独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成28年度スポーツ振興くじ助成事業

(2) 講習会主催 16 事業

① A 級レフリー認定事前講習会、A 級レフリー認定試験

【事業回数】3回

【場所および期日】・山梨8月13日、14日 ・大阪9月24日、25日 ・山梨10月8日、9日

【参 加】全3回計4名

【備 考】独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成28年度スポーツ振興くじ助成事業

② B 級レフリー認定試験事前講習会、B 級レフリー認定試験

【事業回数】2回

【場所および期日】・香川8月20日、21日 ・大阪3月19日、20日

【参 加】全2回計10名

【備 考】独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成28年度スポーツ振興くじ助成事業

③ 国際レフリー資格レベルⅡ、レベルⅢ講習会、認定試験

【事業名】第7回「世界を学ぶ」キンボールスポーツ講習会 2016

【事業回数】1回

【場所および期日】東京7月16日、17日

【参 加】計6名

【備 考】国際キンボールスポーツ連盟より講師1名招へい

日本人講師2名、国際連盟公認講師資格を取得

独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成28年度スポーツ振興くじ助成事業

④指導者講習会

【事業名】キンボールスポーツ指導者講習会 2016

【事業回数】16回

【場所および期日】

- ・兵庫 4月23日
- ・第1回東京 4月29日
- ・京都 5月3日
- ・奈良 6月18日
- ・石川 6月26日
- ・三重 7月3日
- ・第1回和歌山 7月3日
- ・第2回東京 7月16日、17日
- ・第1回山梨 8月13日、14日
- ・香川 8月20日、21日
- ・岐阜 9月4日
- ・第2回和歌山 9月18日
- ・第1回大阪 9月24日、25日
- ・第2回山梨 10月8日、9日
- ・宮城 12月10日
- ・第2回大阪 3月19日、20日

【講習内容】レベル別指導者講習会、レベル別レフリー講習会

【参加】全16回計389名

【備考】独立行政法人日本スポーツ振興センター 平成27年度スポーツ振興くじ助成事業

3. 派遣事業 計15事業

【事業内容】キンボールスポーツ体験の機会提供、指導者、レフリー養成

【事業実績】28年度指導者派遣 計15事業

4. 普及推進関連事業

(1) 支部助成、リーグ助成

【事業内容】

- ①各都道府県連盟に対して、当該都道府県在住を中心とした普通会员所属者数に応じて会費還元金を各都道府県連盟に活動資金として支払う。
- ②支部（正会員である都道府県連盟）が用具購入、大会・講習会開催、その他普及・支部運営活動に関して資金面で補助が必要な場合、理事会に書面を持って申し出る。「支部助成金交付要綱」に基づき理事会または運営事務局会議で審議後、必要に応じて補助・応援体制をとる。
- ③競技としての発展および活性化の目的のために、支部等の主催で行うワールドカップに準じた試合形式のリーグ戦を開催するにあたり、経費の一部を助成する。

【事業実績】

- ①年度報告を終えた16道府県連盟に会費還元金の支払を完了。
- ②事業助成に関して、28年度は次の4支部4件の助成を実施。
 - ・滋賀県キンボールスポーツ連盟「平成28年度滋賀県民総スポーツの祭典
滋賀県スポーツ・レクリエーション大会の部
兼 第11回滋賀県キンボールスポーツ大会」への大会助成。
 - ・石川県キンボールスポーツ連盟「第4回石川県キンボールスポーツ連盟会長杯」への大会助成。
 - ・香川県キンボールスポーツ連盟「ジャパンオープン開催までの活動」への用具寄贈。
 - ・北海道キンボールスポーツ連盟「キンボールスポーツマスターズ大会2016 in 北海道」への大会助成。
- ③リーグ助成に関して、28年度は次の1リーグの助成を実施。
 - ・北信越地区リーグ戦実行委員会「第3期北信越地区キンボールスポーツリーグ戦」への助成。

(2) 広報

【事業内容】 キンボールスポーツのPR活動

【事業実績】

- ① 広報誌（会報）の制作、発送。年1回実施。
- ② ホームページの管理、運営。

事業案内、事業レポート等の掲載。通年実施、年間99回更新。

- ③ フェイスブックページの管理、運営。

アジア大会、全国大会当日情報をはじめ地域大会、講習会情報発信、地域担当者による事業レポート発信、全国各地の新聞、テレビ、公報の取材情報などを掲載。通年実施、年間172記事掲載。

- ④ 文部科学省の催しでのパネルおよびボール展示および資料配布。年1回実施。

(3) キンボールスポーツパートナーシップおよびオフィシャルスポンサー契約

【事業内容】

- ① パートナーシップ契約：パートナー団体や企業の団体名、ロゴマーク、キャッチコピー等が入ったキンボールを講師派遣講習会や大会において優先使用し、パートナー団体や企業が当連盟の諸活動へ協力、協賛していることを参加者や観戦者等にアピールする。
- ② パートナーシップ契約：横断幕やポスター掲示、資料の配布などの希望支援スタイルの提供により、パートナー団体をアピールする。
- ③ オフィシャルスポンサー契約：カテゴリ独占権を有し、連盟ロゴなど企業広告活動において使用することができる。

【事業実績】

- ① 梅花女子大学（大阪府茨木市）と継続契約。
- ② 有限会社両国あんこあられ本舗両国國技堂（東京都墨田区）と継続契約。
- ③ 株式会社サンラッキー（大阪市）と継続契約。
マルハニチロ株式会社（東京都江東区）と継続、10月契約満了。

(4) グッズ、備品等企画

【事業内容】 キンボールスポーツに関する用具、備品等の企画、制作

【事業実績】 28年度実績 ワールドカップロゴ入りトートバック、マフラータオル、バッジ

(5) キンボールスポーツ普及協力

【事業内容】 キンボールスポーツの用具、備品の貸与

【事業実績】 28年度実績 有料貸与59件 無料貸与20件 貸与合計79件

5. 団体管理運営事業

(1) 主な諸会議

【事業内容】 当連盟運営および活動に関する事項についての審議、検討

【事業実績】

- ① 定時社員総会 1回（大阪／6月18日）
- ② 理事会 3回（大阪／5月28日、6月18日、3月18日）
- ③ 運営事務局会議 6回（大阪／5月27日、7月9日、9月17日、12月17日、2月18日、3月18日）
- ④ ワールドカップ準備会議 10回（大阪／4月16日、5月29日、6月19日、7月9日、8月28日、9月17日、10月22日、12月17日、1月28日、2月18日、3月19日、東京／11月19日）

(2) 主催事業および役員・指導担当者他の保険加入

【事業内容】 主催事業および指導担当者他の保険加入

【事業実績】

- ①年間契約（対象：主催事業／更新：9月）の傷害保険に加入。
- ②会長、副会長、理事長、副理事長、理事、委員長、グループ長、グループメンバー、事務局員のスポーツ安全保険（傷害、賠償責任）28名 加入。
- ③団体賠償責任保険に継続加入。

6. 28年度特別事業

(1) アジアカップ日本代表チーム強化および大会参加事業

【内 容】 アジアカップ男女日本代表チーム強化および男女1チームずつの参加

【場 所】 日本国内

【備 考】 合 宿：4月から12月まで 男子チーム7回、女子チーム7回

大会名称：キンボールスポーツアジアカップ2016

大会期間：12月4日(日)

大会場所：日本 大阪府豊中市

大会主催：アジアキンボールスポーツ連盟、一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟

最終順位	男子の部	女子の部
優 勝	日本	日本
準優勝	中国	韓国
3 位	韓国	中国

(2) ワールドカップ日本代表候補強化事業

【内 容】 アジアカップ男女日本代表チーム強化および男女1チームずつの参加

【場 所】 日本国内

【備 考】 合 宿：1月から3月まで 男子チーム2回、女子チーム2回

(3) マスターズ大会共催事業

【事 業 名】 第2回キンボールスポーツマスターズ大会2016 in 北海道

【期 日】 11月12日(土)

【場 所】 北海道白老町 白老町総合体育館

(4) 国体協力事業

【事 業 名】 希望郷いわて国体記念 第9回岩手オープンキンボールスポーツ大会

【期 日】 9月11日(日)

【場 所】 岩手県雫石町 雫石町立体育館

(5) 全国レクリエーション大会協力事業

【事 業 名】 第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜 キンボールスポーツ大会

【期 日】 9月24日(土)

【場 所】 岐阜県岐南町 岐南町総合体育館、岐阜県笠松町 笠松町笠松中学校屋内運動場

(6) INDIE SPORTS FREAKS プロジェクト

【事業内容】

キンボールスポーツをはじめ、チアリーディング、スカッシュといったメジャーでないが、いつか世界に驚きを与える可能性のある種目の日本代表を応援するプロジェクト。公式スポンサーとしてマルハニチロ株式会社の支援のもと立ち上がり、専用のフェイスブックページでの種目PR等の広報を行う。

【備 考】

投稿内容に対して、閲覧者からの「いいね！」数をスポンサー契約金以外のボーナスとしても3団体で競う。10月契約満了に伴い終了。

(7) ワールドカップ準備事業

【事業内容】

次年度日本で開催予定の「第9回キンボールスポーツ ワールドカップ 2017 東京大会」の準備を行う。

【備 考】

「第9回キンボールスポーツ ワールドカップ 2017 東京大会」キックオフイベントを11月18日に東京都内で開催。